

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	都市空間

●目指す姿

- 計画的な市街地の形成、適正な土地利用が図られています。
- 公共施設のバリアフリー化など安全で快適な市街地整備が推進されています。
- 適切な景観、開発、建築指導により、質の高いまちなみが形成されています。
- 豊かな自然が保全されているとともに、緑あふれる公園が適切に維持管理されています。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）自然と調和した美しいまちなみが整っていると感じる市民の割合	69.7% (H26)	－	66.3%	－	66.0%		UP	都市計画課
（主）歩道を安心して通ることができると感じる市民の割合	51.9% (H26)	－	45.8%	－	46.8%		UP	道路課
（客）都市緑化に対する助成件数	446件 H25末	504件	531件	542件			600件	河川公園課

●施策の方向性①適正な土地利用の推進

事業番号	71101	事業名	ごんぼ積み地区都市再生整備事業	担当課	都市計画課
事業概要	歴史的文化遺産である「ごんぼ積み」の活用により、魅力・活気あふれるまちづくりを推進し、安心して楽しめる沿道空間を創出するため、ごんぼ積み集落のまちなみを再生する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 ごんぼのまちなみ修景工事において散策路のカラー舗装を実施した。また、新設道路の市道川40号線の整備に伴い課題となっていた残り1件の用地買収が完了した。引き続き、平成30年度に市道川40号線を整備していく。 【課題】 市道川40号線の整備に伴い、雨水幹線や上下水道など地下埋設物の先行工事が予定されているため、他工事との工程調整が必要となる。 【対策】 早期に工事発注のうえ、関連工事との調整および地元調整を実施し、計画どおりの進捗に努める。				

事業番号	71102	事業名	木曽川～夢と浪漫～まちづくり事業	担当課	都市計画課
事業概要	「木曽川～夢と浪漫のまちづくり盟約」に基づき、木曽川を軸にして、犬山城下町と中山道鵜沼宿、村国座の観光拠点を、各務野歴史街道と本事業で整備する河畔遊歩道で結ぶ、周遊ネットワークの強化により、本市東部地区の観光交流人口の増加を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成29年度に事業が完了した。 【課題】 — 【対策】 —				

事業番号	71103	事業名	新加納地区都市再生整備事業(Ⅱ期)	担当課	都市計画課
事業概要	「中山道間(あい)の宿新加納」の歴史的まちなみを整備するとともに、良好な宅地化を行うため、周辺公共施設を整備するほか、土地区画整理支援を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 新加納土地区画整理内に整備する新加納陣屋公園の用地買収が完了した。引き続き、公園整備について地元まちづくり会との調整を図り、詳細設計及び工事を実施する。また、地区内の土地区画整理事業を支援し魅力と活気あふれるまちづくりを推進する。 【課題】 新加納陣屋公園の整備について、地元まちづくり会や自治会とのワークショップや打ち合わせを重ね、整備方針が決定したが、地元からの強い要望である門や回廊の整備には、多額の事業費を要するため、引き続き、地元調整の継続が必要。 【対策】 新加納陣屋公園に整備する門や回廊の構造やコスト面などについて、建築指導課を含めて地元調整を行い、平成30年度の施工に向けて早期に詳細を決定する。				

事業番号	71105	事業名	土地区画整理支援事業	担当課	都市計画課
事業概要	市街化区域で宅地利用が困難となっている未利用地において、組合施行による土地区画整理事業を実施し、優良な市街地を形成する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 現在、新加納地区において土地区画整理事業を支援し、魅力と活気あふれるまちづくりを推進している。29年度は、市街化区域でありながら宅地が不整形や未接道などの理由により土地利用が困難となっている他の地区について、土地の地権者に対し、土地区画整理事業の内容や効果について説明会及び個別説明を行った。 【課題】 土地区画整理について地権者に対し事業計画を説明し、意向確認を行った結果、「未利用地解消に向け推進してほしい」という賛成者がいる一方、「土地を減らしたくない」などの反対意見もあり、全員同意が得られない。 【対策】 反対者に対しては、事業による土地区画の再編と接道確保のメリットについて一層丁寧な説明を行い、同意が得られるよう、区画整理組合立ち上げに向けた支援を実施する。				

事業番号	71106	事業名	新那加駅周辺地区都市再生整備事業	担当課	都市計画課
事業概要	「新那加駅周辺地区バリアフリー基本構想」に基づき、新那加駅周辺の公共施設のバリアフリー化を推進し、高齢者、障害者等が移動しやすい、快適な市街地を整備する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 バリアフリー法の対象となる名鉄新那加駅は、改札口や連絡通路が地下に設置されており、高齢者、障害者等の移動が困難となっている。当駅の南口と北口及び改札内に計3基のエレベーターを設置するため、鉄道事業者とともに事業を実施中。 【課題】 本事業で新たに設置する南口・北口のエレベーター及び地下通路については、自由通路化に伴い市の維持管理となる見込みであり、維持管理区分の詳細や大規模修繕が必要となった際の対応を明確にするため、鉄道事業者との協議が必要となる。 【対策】 鉄道事業者との維持管理協定の締結に向けた協議を継続し、維持管理や大規模修繕時の費用負担等について、協定書に基本方針を明記する。				

事業番号	71107	事業名	各務山土地開発事業	担当課	都市計画課
事業概要	市中心部に位置する各務山の採石場跡地の有効な土地利用を図り、優良な市街地の形成、産業の活性化を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対してあまり順調に進んでいない
現状・課題・対策	【現状】 ・南北幹線道路の交差点設計に活用するため、各務山周辺の将来交通解析を実施中。 ・第1工区の詳細設計に向け、基本設計を実施中。 ・事業区域の地区計画策定に向け、関係機関と協議中。 【課題】 各務山第1工区の整備に関する地区計画策定にあたり、地権者全員の同意を要すること及び、区域マスタープランの内容に基づく岐阜県との協議を要することから、工事着手時期に影響のないよう、早期に協議を進める必要がある。 【対策】 地区計画の策定を早期に実現できるよう、地権者及び県との協議を重ねるとともに、全員の合意形成に向け、用地補償協議を含め慎重に対応していく。				

●施策の方向性②魅力的な都市空間の形成

事業番号	71201	事業名	空家等対策事業	担当課	建築指導課
事業概要	今後、益々空き家は増加することが予測されるため、効果的に流通促進を図ることが求められる。また、空き家所有者へのアンケートの結果、所有者の半数以上が不動産市場への流通を希望しているが、所有する空き家が旧耐震基準であるため、速やかな流通が困難であることが予想される。したがって、国土交通省の賃貸借ガイドラインに基づき、課題である旧耐震基準の空き家を含め、賃貸物件として借り主が自由にリノベーション可能な「借主負担DIY型契約」を用いることで、空き家を新たな形で市場に流通させていく。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 事業協力により登録の依頼を受けた物件数として、20戸程度を公開している。 【課題】 借主負担DIY型契約を増やすには、魅力ある空き家をより多く登録する必要がある。 【対策】 建築指導課、広報課、まちづくり推進課を含む「空き家リノベーション推進会議」の連携を密にし市民等への周知・啓発活動を強化する。 このほかにも平成30年度からDIY空き家ワークショップ開催事業や空家等予防・適正管理等推進事業を実施し、空家対策を強化していく。				

●施策の方向性③公園・緑地の保全

事業番号	71301	事業名	都市公園等整備事業(補助)	担当課	河川公園課
事業概要	施設の老朽化、公園利用者のニーズを踏まえ、市民の憩いの場やレクリエーション活動の拠点となる緑豊かな公園をリニューアル、または新規整備する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 緑の基本計画における公園・緑地の整備方針に基づき、公園のリニューアル、新設整備を実施している。 【課題】 公園のリニューアルについては、施設の老朽化の度合いや整備の必要性などから優先順位を決める必要があるが、地域及び周辺住民の個別のニーズがあり、地域の実情を十分見極めながら費用対効果も重視して整備していく必要がある。 【対策】 計画においては地元説明会を実施し、住民の要望を十分聞いた上で可能な限り設計に反映させ、利便性の高い公園整備に努める。				

事業番号	71302	事業名	緑化推進事業	担当課	河川公園課
事業概要	市内の公園(自然遺産の森及び河跡湖公園)における緑化イベントや市民ボランティア等と連携した公共の花壇等への花苗などの植栽、接道・屋上・壁面緑化など市民による各種緑化活動への助成などにより、市民への緑化啓発を推進する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 たけのこまつり、河跡湖フェスティバルなどの緑化イベントの開催や、年2回の花苗配布及び花と緑コンクールの開催、接道緑化及びブロック塀撤去に対する補助金の助成を実施している。 【課題】 緑化活動等は市民ボランティア団体を中心に実施していただいているが、参加者が固定化及び高齢化の傾向にあり、幅広く市民に緑化啓発を行っていくには、緑化イベント等を通じて若年層を含めた多数の市民への啓発を図り、実効性を高めていく必要がある。 【対策】 緑化イベントにおける新たな集客を図るため、幼児・児童向けプログラム内容の見直しにより親子の来場を促進するとともに、来場者への緑化啓発を実施する。				

●施策の方向性④岐阜基地周辺環境の整備

事業番号	71401	事業名	学習等供用施設改修事業	担当課	総務課
事業概要	航空機騒音を緩和し、地域における学習及びコミュニケーションの場を提供するため、防衛省の補助金や交付金などにより建設された集会場のうち、経年により老朽化した施設を改修する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成29年度は三井北町集会場の改修工事を行い、地域住民の集会、学習活動環境の向上を図ることができた。 また、平成30年度実施予定の三井東町ふれあいセンター改修工事について、設計を行った。 【課題】 施設の経年劣化が進み、特に空調設備等の不具合や雨漏り等が見受けられる施設が毎年あり、早急な対応が必要である。また、騒音測定の結果、建設当初の防衛省補助メニューが使用できない施設がある。 【対策】 施設の状態や市民からの要望等を踏まえ、改修計画を随時見直すとともに、防衛省の補助メニューを効率的に活用し、地域住民が安心して活動できるよう整備を進める。				

事業番号	71402	事業名	学習等供用施設建設事業	担当課	総務課
事業概要	航空機騒音の影響を受けている那加東新町地区において、自治会や地域の各種団体の活動を促進するため、防衛省補助により学習等供用施設を建設する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成29年度は建設工事を実施し、計画通り那加東新町ふれあいセンターが竣工した。 【課題】 今後、地域の人々の活動の拠点として、長きに亘り沢山の人に利用されるよう、指定管理者としての自治会の役割が重要となる。 【対策】 施設管理を適切に行っていけるよう、継続的に自治会との連携、サポートをしていく。				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	交通体系

●目指す姿

- 本市と近隣市町とを結ぶ主要な広域幹線道路が整備されています。
- 交通混雑箇所の解消、自転車利用を視野に入れた道路など、利便性や安全性の高い市内幹線道路が整備されています。
- 狭あい道路の改善や舗装、側溝整備など、身近な生活道路が整備されています。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）円滑に移動できる道路網が整備されていると感じる市民の割合	53.8% (H26)	－	50.8%	－	47.4%		UP	道路課
（客）市道整備（新設・改良）延長	－	1,134m	1,867m	3,253m			7,000m	道路課
（客）狭あい道路整備件数	15件 H25末	23件	28件	31件			45件	建築指導課
（客）歩道バリアフリー化整備延長	－	1,538m	2,264m	3,944m			8,000m	道路課

●施策の方向性①広域幹線道路の整備

事業番号	72101	事業名	日野岩地大野線整備事業 （市道那378号線）	担当課	道路課
事業概要	自転車、歩行者の安全及び交通利便性を確保するため、市西部の広域幹線道路として、都市計画道路日野岩地大野線のうち、市道那378号線区間を、両側歩道の2車線道路に拡幅整備する。 <事業概要> 事業期間：平成25～32年度 整備延長：1,039m			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 前年度に引き続き工事を進めており、平成29年度は、JR・名鉄踏切の拡幅及び踏切付近の区間における道路整備工事を実施した。 【課題】 主要な幹線道路の交差点である、いちよう通り交差点部の施工においては、交通影響に十分配慮する必要がある。 【対策】 交通影響に配慮した交通規制、う回路の確保等を適切に行い、工事渋滞や苦情を極力抑えながら計画どおりの工事進捗を図る。				

事業番号	72102	事業名	犬山東町線バイパス整備事業	担当課	道路課
事業概要	新鵜沼駅周辺の渋滞を解消するため、市東部の広域幹線道路として、都市計画道路犬山東町線バイパスのうち、犬山橋から新鵜沼駅前までの区間を整備する。 <事業概要> 事業期間:平成24～29年度 整備延長:307m			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成29年度に事業を完了した。 【課題】 — 【対策】 —				

●施策の方向性②市内幹線道路の整備

事業番号	72201	事業名	地区計画道路整備事業	担当課	都市計画課
事業概要	良好な環境の街区の形成を促進するため、必要な道路の整備を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 寄附・買収により、地区計画道路の用地取得を行い、道路整備を実施する。区画道路総本数218本のうち、整備済み25本、一部整備済み25本となっている。 【課題】 地区計画道路の計画区域内において、建物や工作物などが支障となり、全区間の整備が困難なため、整備率が上がらない要因となっている。 【対策】 建物や工作物などの補償物件が少ない路線や宅地需要が多い地区を重点的に実施し、事業効果の早期発現を図る。				

事業番号	72203	事業名	市道那837号線道路改良事業 (尾崎中央通り)	担当課	道路課
事業概要	老朽化が著しい車道舗装を打ち換え、両側にバリアフリー化歩道を整備することにより、通行車両と歩行者の安全を確保する。 <事業概要> ・事業期間:平成20～30年度 ・整備延長:2,344m			担当課 評価	事業の達成指標 に対して順調に 進んでいる
現状・ 課題・対策	【現状】 平成29年度より北洞地区の改良工事に着手し、2ヶ年の計画で実施している。 【課題】 平成30年度に事業を完了する予定としているが、通過速度の速い直線区間における交通規制への配慮とともに、地元及び関係機関との調整を行う必要がある。 【対策】 工事の施工に際して、仮設歩道及び交通誘導員の適切な配置など十分な安全対策を行い、平成30年度の事業完了を図る。				

事業番号	72207	事業名	市道那1043号線外1道路改良事業 (さくら通り)	担当課	道路課
事業概要	市街地を結ぶ主要道路として、自転車、歩行者の安全及び交通利便性を図るため整備する。(さくら通り左岸側) <事業概要> ・事業期間:平成25～29年度 ・整備延長:1,092m			担当課 評価	事業の達成指標 に対して順調に 進んでいる
現状・ 課題・対策	【現状】 平成29年度に事業を完了した。 【課題】 — 【対策】 —				

事業番号	72208	事業名	市道那168号線外1 道路改良事業	担当課	道路課
事業概要	市西部の主要道路として、自転車、歩行者の安全及び交通利便性を確保するため、いちよう通りと市道那692号線(旧県道)を結ぶ区間を整備する。(那加長塚町～山後町地内) <事業概要> ・事業期間:平成25～31年度 ・整備延長:510m			担当課 評価	事業の達成指標 に対して概ね順 調に進んでいる
現状・ 課題・対策	【現状】 平成28年度から29年度にかけて、境川橋南交差点付近の本線区間における歩道設置に必要となる拡幅部の土留工及び盛土等を施工した。 【課題】 隣接する那378号線と併せ、一体的な工事の進捗を図る必要があると同時に、交差点部及び橋梁付近も早期に拡幅し、早期の事業効果発現を図る必要がある。 【対策】 事業費の確保に努めるとともに、那378号線との工程調整に配慮した工事計画を立案し、安全かつ交通影響の少ない施工に努める。				

事業番号	72209	事業名	市道那616号線道路改良事業	担当課	道路課
事業概要	市街地を結ぶ主要道路として、自転車、歩行者の安全及び交通利便性を図るため整備する。(那加雄飛ヶ丘町～那加昭南町) <事業概要> ・事業期間:平成27～30年度 ・整備延長:152m			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成29年度は、事業用地取得を実施した。 平成30年度に事業を完了する予定。 【課題】 平成30年度には残り1件の用地取得が完了する見込みとなり、併せて工事を実施する予定としているが、交通規制の変更に伴う公安協議を早急に行う必要がある。 【対策】 公安協議を早期に実施し、公安委員会所管の規制変更や道路標識の移設について工程の調整を図り、平成30年度の完成を図る。				

事業番号	72213	事業名	狭あい道路整備事業	担当課	建築指導課
事業概要	生活道路の整備を行うため、道路後退用地として使用する土地について、寄付していただくことを前提に、市が確定測量、所有権移転等を行い、狭あい道路の整備を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成28年度は5件、29年度は4件の道路後退用地の寄付を受け、狭あい道路整備を実施している。 【課題】 制度についての市民の認知度が低い。また、所有者にとっては狭あい道路整備事業の重要性の認識より、土地が減るという意識を持たれる傾向がある。 【対策】 制度及び事業の重要性を広報やウェブサイトで周知するとともに、来庁された市民に対し制度の内容を丁寧に説明し、道路後退による防災上の意義や利便性の向上について理解を得る。				

事業番号	72215	事業名	市道蘇北735号線外1道路改良事業(蘇原中央通り)	担当課	道路課
事業概要	地区における慢性的な交通停滞の解消を図るため、交差点内において右折車線を拡幅整備する。 <事業概要> ・事業期間:平成28～30年度 ・整備延長:152m			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成29年度は、物件補償調査、事業用地取得を実施した。用地補償交渉は順調に進捗しており、平成30年度に事業を完了する予定。 【課題】 用地取得見込みに伴い、早期の事業効果発現のため工事の前倒しを図っているが、信号機、電柱の移設等を行う必要があり、速やかな協議・調整の実施が必要である。 【対策】 信号機、電柱の移設等を早期に着手できるよう、関係機関との協議を密に行うとともに、各事業者の作業が滞りなく進むよう工程の調整を行う。				

事業番号	72216	事業名	市道蘇北390号線外2道路改良事業(かえで通り延伸)	担当課	道路課
事業概要	市の南北軸を形成する主要道路として、車両、歩行者の安全及び交通利便性を図るため整備する。(蘇原瑞穂町～蘇原大島町) <事業概要> ・事業期間:平成28～33年度 ・整備延長:700m			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成29年度は、物件補償調査及び事業用地取得に着手した。平成31年度まで継続して用地取得を行う予定としている。 【課題】 工事着手については、防衛省より用地取得の完了が条件とされているが、現時点では一部の地権者について用地交渉が難航している。 【対策】 用地の完全取得に向け、粘り強く地権者との折衝を進める。また、これと並行して交渉の難航が続く場合に、未買収区間の早期着手や暫定形への変更等により事業を継続できるよう、防衛省との協議を行う。				

事業番号	72219	事業名	市道鵜1087号線道路改良事業	担当課	道路課
事業概要	緊急輸送道路としての機能を確保するとともに、通学路の安全対策を推進するため、片側歩道の2車線道路に拡幅整備する。 <事業概要> ・事業期間:平成29～31年度 ・整備延長:310m			担当課 評価	事業の達成指標 に対して概ね順調に進んでいる
現状・ 課題・対策	【現状】 平成29年度は、事業用地取得を実施した。 【課題】 工事中の通学児童の安全を確保するため、鵜沼第一小学校の通学路の変更について、学校及び関係団体との調整が必要である。また、橋梁拡幅に伴う河川内工事の実施時期に制約がある。 【対策】 通学路の変更について、学校、PTA、教育委員会、開発事業者等との協議を早期に開始し、事業の円滑な進捗を図る。 橋梁拡幅については、期間内で施工可能な仮設及び本工事实施方法の精査と、河川管理者との協議を早期に進める。				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	上下水道・河川

●目指す姿

- 上水道、下水道が適切に整備、管理され、市民の快適な生活が確保されています。
- 雨水幹線、河川、貯留浸透施設の整備により、豪雨などによる浸水被害から市民の生命や財産が守られています。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）各務原の水道水を安心して飲むことができると感じる市民の割合	79.9% (H26)	－	76.5%	－	79.6%		UP	水道 総務課
（客）下水道普及率	77.1% H25末	79.4%	79.9%	80.4%			83.5%	下水道 課
（客）雨水幹線整備延長	37km H25末	37.7km	37.9km	38.2km			39km	河川 公園課
（客）水道管路の耐震化率	23.6% H25末	26.6%	28.2%	29.7%			33.4%	水道 施設課

●施策の方向性①水道水の安定供給

事業番号	73101	事業名	水道施設等更新事業	担当課	水道施設課
事業概要	水道水の安定供給のため、老朽施設等の設備・機器を更新整備する。			担当課 評価	事業の達成指標 に対して順調に 進んでいる
現状・ 課題・対策	【現状】 水道水の安定供給のため、老朽施設等の設備・機器を計画的に更新整備している。 【課題】 設備・機器の状態を見極め、適切な施設の修繕、更新計画を立案する必要がある。 水道施設を稼働しながら施工する必要があり、水質事故、断水事故を起こさないよう十分に注意しなければならない。 【対策】 日常点検等により、設備・機器の状態を的確に見極める。 水質事故、断水事故を未然に防ぐため、施工計画を綿密に検討する。				

事業番号	73102	事業名	水道施設・設備耐震化 (水道施設・配水管)整備事業	担当課	水道施設課
事業概要	水道管路について、老朽管布設替等により、地震等の災害に強い管種・継手を施工し、耐震化を図る。 水源地や配水池等の水道施設について、耐震性能が低い施設を順次、耐震補強する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 災害時におけるライフラインの確実な確保に向けて、耐震性能を有しない老朽管路の耐震化を進めるとともに、基幹管路(導水管・送水管・配水本管)への耐震補強金具の設置により、耐震化率の向上に努めている。 計画に沿った事業実施により、目標どおり耐震化と耐震補強を進めることができています。 【課題】 国による諸経費の算定基準の見直しにより、工事価格が上昇傾向にあるなか更新率を維持する必要がある。また、水道施設を稼働しながらの施工となるため、水質事故、断水事故を起こさないよう十分に注意する必要がある。 【対策】 今後は、小規模な工事をまとめて発注することにより、経費の抑制に努めるとともに、他機関の工事に併せて管路更新を行い、舗装復旧費の削減に取り組んでいく。 また、施工計画を綿密に検討し、事故を未然に防ぐ。				

●施策の方向性②公共下水道(污水)の整備及び維持管理

事業番号	73201	事業名	下水道管渠布設事業	担当課	下水道課
事業概要	都市基盤としての污水幹線等の下水道管渠を整備し、快適で衛生的な市民生活を確保するとともに、貴重な上水道の水源地である地下水の水質保全を確保する。			担当課 評価	事業の達成指標に対してあまり順調に進んでいない
現状・課題・対策	【現状】 市街化調整区域を中心に、面整備を実施しており、平成29年度は蘇原持田町、鵜沼羽場町、鵜沼三ツ池町において計13.75haの面整備を実施し、供用を開始した。 【課題】 下水道長寿命化事業も併せて実施する必要がある中で、未普及解消事業については比較的人口密度の低い区域や、施工上の制約の多い区域に着手していることから、快適で衛生的な市民生活を確保する指標である下水道普及率の伸びが鈍化している。 【対策】 設計の見直しや支障移転工事の削減に努め、更なるコスト縮減に取り組みながら、国土交通省補助を有効に活用し、面整備を優先的に進める。				

事業番号	73204	事業名	地方公営企業法適用事業	担当課	下水道課
事業概要	これまでの特別会計から、貸借対照表や損益計算書等のいわゆる財務諸表の作成を行い、自らの経営・資産等を正確に把握して地方公営企業会計へ円滑に移行していく。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成29年度から平成31年度までの支援業務委託を実施している。平成29年度は、主に固定資産調査を実施した。 【課題】 公営企業会計の適用に向け、不備のない確実な資産把握と財務諸表作成の取り組みが必要であり、支援業務委託を実施しているが、関連事務量が増大している。 また、平成31年度の委託業務完了に向け、進捗管理を確実に行う必要がある。 【対策】 委託事業の打合せの都度、進捗状況の報告内容を精査し、以降の事業実施に際しての課題点を把握のうえ、公営企業会計への円滑な移行に努める。				

●施策の方向性③公共下水道（雨水）及び河川の整備

事業番号	73301	事業名	雨水施設整備事業（雨水幹線・ひ管改築・校庭貯留施設）	担当課	河川公園課
事業概要	想定を超える集中豪雨により、家屋への浸水や道路冠水など、治水安全度が著しく低下していることから、市民の生命と財産を守るため、雨水幹線の整備を行う。また、都市化の進展による雨水の流出抑制を図るため、公共施設に貯留施設の整備を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 大雨による浸水被害を防止するため、公共下水道（雨水）事業において、雨水幹線や樋管及び貯留施設の整備を実施している。 【課題】 社会資本整備総合交付金による下水道事業において雨水施設整備を実施しているが、交付金の配分額には年度による増減があり、これに対応した年間事業量の調整と、早期の事業効果発現を同時に図っていく必要がある。 【対策】 浸水被害が頻発している区域を優先して、雨水幹線の整備を実施するとともに、雨水幹線の整備に長期を要する区域においては、貯留施設など一時的に雨水を貯留する施設を整備して雨水の流出を抑制し、早期に浸水被害の軽減を図る。				

事業番号	73302	事業名	排水路改良事業	担当課	河川公園課
事業概要	老朽化による破損や排水能力の不足により、浸水被害が発生している区域の治水安全度を確保するため、排水路の改修を行う。			担当課 評価	事業の達成指標 に対して概ね順調に進んでいる
現状・ 課題・対策	【現状】 国庫補助要件に満たない雨水幹線や小規模な排水路においても、豪雨の際に局所的な浸水が発生しており、優先度の高い排水路から順次改修を行っている。 【課題】 小規模な排水路の多くは資料が乏しく、整備年も不明であり、浸水箇所の下流において水路断面が不足していたり、不適切な施工がなされていることがあるが、これらの多くは暗渠水路であり、通常では流量や接続先の把握が困難であることから、浸水の原因把握のため、順次詳細な調査を行っていく必要がある。 【対策】 水路の改良を行うにあたり、上流及び下流を考慮した水路断面の確保に努める。 また、今後も市内の暗渠水路について順次調査を行い、浸水原因の把握に努める。その他の排水路についても、堆積土砂の浚渫や清掃など維持管理を強化していく。				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	都市基盤の機能強化

●目指す姿

●路面舗装、歩道橋、橋梁等の道路構造物、公園施設、公共下水道施設の補修が計画的に行われ、既存の施設が大切に活用されています。

●補修工事の際に、施設の状況を踏まえ、補強や耐震などの機能強化が図られています。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）身近な公園や道路などで再生が図られ、利用しやすくなったと感じる市民の割合	53.1% (H26)	－	50.5%	－	50.5%		UP	河川 公園課
（客）幹線道路の舗装打換実施路線数	－	1路線	3路線	3路線			6路線	道路課
（客）橋梁耐震補強・補修箇所数	－	2橋	3橋	9橋			15橋	道路課
（客）公園施設の長寿命化・リニューアル数	41箇所 H25末	56箇所	65箇所	72箇所			85箇所	河川 公園課

●施策の方向性①公共施設の長寿命化

事業番号	74101	事業名	橋梁長寿命化事業	担当課	道路課
事業概要	劣化・損傷により大きな社会的損失が生じることを避けるため、橋梁の法定点検及び修繕を年次計画に基づき適切に行う。 ＜事業概要＞ ・事業期間：平成23年度～ ・対象：橋梁 530橋、横断歩道橋 9橋			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 橋梁の法定点検及び修繕を年次計画に基づき実施している。 また、橋梁の個別施設計画である「橋梁長寿命化修繕計画」を策定した。 【課題】 既存ストックの老朽化に伴い、点検結果により修繕を要する橋梁が多数となっている。 また、横断歩道橋についても、平成30年度に実施する点検結果に基づき今後修繕が必要となる見込み。 【対策】 橋梁の重要度・交通量や劣化度等を総合的に判断し、優先順位に基づく長寿命化修繕を継続して実施する。横断歩道橋についても同様に適切な修繕を進める。				

事業番号	74102	事業名	公園施設長寿命化事業	担当課	河川公園課
事業概要	公園施設の既存ストックについて、その改築・更新時期と費用の平準化を定めた公園施設長寿命化計画に基づき、改修工事を計画的に実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 公園施設長寿命化計画に基づき改修工事を実施するとともに、平成29年度は、既存の52公園の改築・更新時期と費用の平準化から、161公園に対象を拡大する見直しを行った。 【課題】 計画対象の公園数を拡大したことから、早急な修繕を要する施設の選別と改修の優先順位の決定については、施設の点検結果に応じて柔軟かつ迅速な対応が必要となる。 【対策】 点検等で早急な修繕を要する施設が見つかった場合には、長寿命化計画の立て直しなど柔軟な対応を行う。				

事業番号	74103	事業名	市営住宅改修等整備事業	担当課	建築指導課
事業概要	市営住宅の長寿命化を行うため、順次、老朽化した施設の整備改修を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 生活に直結する水回りの改善を行うため、配管改修については、旭ヶ丘住宅で3戸、雄飛ヶ丘第2住宅で9戸を実施し、排水管高圧洗浄は、雄飛ヶ丘第2住宅で4戸を実施した。 【課題】 住居内での工事のため、入居者に配慮した日程調整及び工法の工夫が必要である。 【対策】 退去によって空き家となった住戸を工事対象として実施することにより、入居者への負担軽減を図る。				

事業番号	74104	事業名	下水道長寿命化事業	担当課	下水道課
事業概要	下水道における事故の未然防止とライフサイクルコストの最小化を図るため、長寿命化計画に基づき改築更新を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対してあまり順調に進んでいない
現状・ 課題・対策	【現状】 策定している長寿命化計画に基づき、老朽化が進んでいる管渠の更生及び布設替え等を行っている。 【課題】 国の補助配分の増減に応じて事業を実施する中、計画に遅れを生じる部分の下水道施設について突発的な事故が起こらないよう、日常点検に努める必要がある。 【対策】 国庫補助の安定的な確保を目指し国に積極的に働きかけていくとともに、破損や詰まりによる修繕の発生する路線や区域を重点的に点検し、状況に応じた効率的な長寿命化事業の実施に努めていく。				

事業番号	74105	事業名	公園建物施設改修等整備事業	担当課	河川公園課
事業概要	公園施設(公園)長寿命化計画等に基づき、以下の施設における老朽化した建築施設の改修を行う。(対象施設:リバーサイド21、市民公園、各務野自然遺産の森、学びの森)			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状・ 課題・対策	【現状】 長寿命化計画に基づき、建築施設の改修を実施している。 【課題】 予防的保全により長期的な修繕コストの縮減を図るため、適切な更新時期の見極めが必要となっている。 【対策】 定期的な点検による施設の劣化状態の確認を行うとともに、経済的な改修方法を検討し、適切な時期の改修実施に努める。				

事業番号	74106	事業名	鵜沼空中歩道等長寿命化事業	担当課	都市計画課
事業概要	既存ストック(宇留摩庵、鵜沼空中歩道ほか)について、それらの改築・更新時期と費用の平準化を定めた公共施設長寿命化計画に基づき、維持補修工事を行う。			担当課評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成26年度に鵜沼空中歩道の定期点検を行った。また、公共施設長寿命化計画に基づき、平成30年に鵜沼駅前駐輪場の外壁塗装と新鵜沼駅前トイレ・空中歩道の屋根塗装を行うこととなっている。 【課題】 長寿命化計画には耐用年数を考慮して整備年度が定められているが、整備箇所劣化の度合いを把握することで、改修が必要であるか再度確認するなど、予防保全型の改修計画の有効性を慎重に判断する必要がある。また、その判断基準が明確になっていない。 【対策】 構造物の状況把握に努めるため、部位に応じて点検記録簿を作成し、構造物の履歴を残し見える化することで、改修判断の参考とする。また、長期的な視点で長寿命化計画を立案する。				

●施策の方向性②施設の高付加価値化

事業番号	74201	事業名	道路維持改良事業	担当課	道路課
事業概要	道路網全体の安全性を向上させるため、調査点検結果を踏まえ、舗装や構造物等の道路ストック修繕を行う。 <事業概要> 事業期間: 平成25～36年度 市内幹線道路舗装修繕・道路ストック防災修繕(社会資本整備総合交付金・調整交付金など)			担当課評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成29年度は、地下道・ボックスカルバート点検、路面性状調査、道路照明灯の修繕、市道鵜932号線外3路線の舗装修繕等を実施した。 また、舗装、横断歩道橋、道路照明灯の個別施設計画を策定した。 【課題】 道路ストック老朽化による第三者被害を未然に防ぐため、点検、修繕等のサイクルの確立が必要である。 幹線道路舗装の老朽化に対し、計画的に修繕し安全な道路を維持する必要がある。 【対策】 道路ストックの総数把握と、点検結果に基づき、修繕工事の実施を進める。 緊急度が高い路線について、国の補助金等を活用し着実な進捗を図る。				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	公共交通

●目指す姿

- 地域住民が利用しやすい公共交通ネットワークが形成されています。
- ふれあいバス等が市民の移動手段として活発に利用されています。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）ふれあいバスを利用しやすいと感じる市民の割合	14.8% （H26）	-	15.6%	-	13.9%		UP	商工振興課
（客）ふれあいバスの年間利用者数（年間）	135,620人 H25実績	172,151人	199,249人	213,930人			200,000人以上	商工振興課

●施策の方向性①公共交通ネットワークの形成

事業番号	75101	事業名	公共交通ネットワーク形成事業	担当課	商工振興課
事業概要	鉄道、路線バス、ふれあいバスなど各路線の役割と確保すべきサービスを明確にするとともに、鉄道を軸に、路線バスやふれあいバスなど、多様な交通サービスが相互に連携した一体的な公共交通ネットワークを形成する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成27年度の再編後、継続的に利用者数を伸ばし、平成29年度には、年間利用者数の目標値である200,000人を達成している。一方で、ふれあいバスを利用しやすいと感じる市民の割合は13.9%と以前よりも下回っている。 【課題】 利用者数が増えたことで、ふれあいバス等公共交通への関心が高まっており、路線・時刻表・乗り継ぎなどに対する様々な要望がきているため、対応が必要である。 【対策】 継続的な利用促進や啓発事業を通して、利用者数の維持を目指しつつ、路線ごとの課題の把握や分析を行う。また、地域での懇談会等を通して、より多くの方に利用しやすいと感じてもらえるふれあいバスを目指すために改善していく。 一方で、ふれあいバスのみでカバーできない課題やニーズについて、ふれあいバス以外も含めた公共交通全体でカバーできるよう、他の公共交通の活用や利用促進を展開していく。				

事業番号	75102	事業名	鉄道駅バリアフリー化設備等整備事業	担当課	商工振興課
事業概要	改正バリアフリー法及び各務原市新那加駅周辺地区バリアフリー基本構想に基づき、新那加駅のバリアフリー化を名古屋鉄道株式会社が進めるため、市も同構想に基づき必要経費の一部を負担する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 新那加駅のバリアフリー化（EV及び多目的トイレの設置など）を名古屋鉄道株式会社が施工するため、平成29年度には調査設計費について補助。平成30年度は工事費の一部補助を実施する。 【課題】 国の補助金交付が早期に決定しない（平成29年度は8・9月）可能性が高く、着工がずれ込み2ヵ年度（国の交付決定に合わせて単年度ごとに申請）に渡る工事になることが予想される。工事期間中はもちろんのこと、休工期間（平成30年度終了時～31年度交付決定まで）の事故の防止、駅利用者・周辺住民等への周知など細心の注意を払う。 【対策】 本体事業者である名古屋鉄道株式会社、補助金の一部を負担する岐阜県、市との協議を重ね、工事・予算スケジュールの確認等の意思統一を行い、円滑な事務を進めていく。また、駅利用者・周辺住民等に対して、工事実施の周知を徹底する。				

●施策の方向性②ふれあいバスの運行

事業番号	75201	事業名	ふれあいバス運行事業	担当課	商工振興課
事業概要	地域の有効な移動手段として市民に愛され、持続的な運行が可能になるよう、地域住民、交通事業者、行政が一体となった取り組みを戦略的に進め、一層の利用促進に取り組む。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状・課題・対策	【現状】 平成27年度のふれあいバスの再編後、継続的に利用者数を伸ばし、平成29年度には、年間利用者数の目標値である200,000人を達成している。一方で、ふれあいバスを利用しやすいと感じる市民の割合は13.9%と、以前よりも下回っている。 【課題】 運行に必要な資源（人材、資金等）は限られており、効果的な運行体制の検討が必要。 【対策】 確実な運行を継続するほか、ふれあいバス車内に設置した「意見箱」等を通して、市民や利用者の意見や気づきを運行事業者とも共有し、より利用しやすいバス環境づくりを目指す。 また、より分かりやすい情報発信を目指し、バスの運行情報等を乗り継ぎ案内サービス等へ積極的に発信していく。				